

第3次男女共同参画プランまるがめ 進捗状況一覧

(1) 施策実施評価基準		(2) 審議会による目標ごとの進捗状況の評価基準	
A	目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。	進捗している	目標ごとの施策実施に関する審議会の評価がAまたはBであり、Aの方が多い。
B	目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。	概ね進捗している	目標ごとの施策実施に関する審議会の評価がAまたはBであり、A、B同数またはBの方が多い。
C	目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。	あまり進捗していない	目標ごとの施策実施に関する審議会の評価にCがある。

目指すまちの姿	施策番号	施策	平成30年度事業実績		
			(1) 審議会による施策実施評価	(1-1) 審議会によるコメント 【ヒア】ヒアリング実施課名 (評価コメントに反映しています)	(2) 審議会による目標ごとの進捗状況の評価基準
目標1 男女共同参画の意識づくり 男性も女性も一人ひとりが誇りを持って自分らしく生きています。「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識にとらわれず、個人として等しく尊重され、男女共同参画の必要性について理解を深めています。	【1】	人権尊重・男女共同参画意識の醸成に向けた広報、啓発の充実	B	出前講座や川柳募集など、双方向のコミュニケーションをうみだす情報発信について評価する。今後も、わかりやすい広報・啓発に努めることを望む。	概ね進捗している
	【2】	情報の収集、提供と実態調査の実施	B	LGBTアンケートや子育て支援施設でのヒアリングなど、現状把握の取り組みを評価する。関係課と課題を共有し連携した施策につなげることを望む。 【ヒア】人権課	
目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ	【1】	男女共同参画の視点に立った教育、保育の推進	B	学校現場の取り組みを記載するのではなく、環境整備や支援について、課として何をするのかを具体的に記載することを望む。また、パワーハラスメントやセクシャルハラスメント等が潜在化していないか、リスクマネジメントに努めることを望む。 【ヒア】学校教育課	概ね進捗している

目指すまちの姿	施策番号	施策	平成30年度事業実績		
			(1) 審議会による施策実施評価	(1-1) 審議会によるコメント 【ヒア】ヒアリング実施課名 (評価コメントに反映しています)	(2) 審議会による目標ごとの進捗状況の評価基準
参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。	【2】	男女共同参画の視点に立った進路指導、キャリア教育の推進	B	上記目標2【1】や目標7【1】も同様であるが、学校現場の取り組みを記載するのではなく、環境整備や支援について、課として何をするのかを具体的に記載することを望む。子どもが職業選択の幅を広げ、多様なチャレンジができるよう、積極的な情報提供に努めることを望む。 【ヒア】学校教育課	
	【3】	男女共同参画の推進に向けた学習機会の提供	B	主体的に学習する場で、多世代が交流し、まちづくりを考える取り組みの実施を評価する。それが男女共同参画の視点に気づく機会ともなるよう努めることを望む。 【ヒア】市民活動推進課	
目標3 政策・方針決定過程への女性参画の推進	【1】	政治への関心を高める取組の推進	B	市政の課題について、市民が関心をもつような取り組みを望む。「子ども議会」は、役員の子どものみではなく、皆が主体的に考える機会となるよう工夫することを望む。 【ヒア】学校教育課	あまり進捗していない
	【2】	行政機関における意思決定の場への女性の参画拡大	B	すべての審議会において女性委員が活躍できるよう担当課の意識改革が必要。女性委員が40～60%となるよう人材発掘に努めることを望む。職員が苦手意識を克服しキャリアアップできるよう寄り添うとともに働き方改革の推進を望む。 【ヒア】人権課	

目指すまちの姿	施策番号	施策	平成30年度事業実績			
			(1) 審議会による施策実施評価	(1-1) 審議会によるコメント 【ヒア】ヒアリング実施課名 (評価コメントに反映しています)	(2) 審議会による目標ごとの進捗状況の評価基準	
	【3】	企業などにおける意思決定の場への女性の参画推進	B	企業訪問など現場の声を直接聞く姿勢を評価する。女性が働きやすく活躍できる職場づくりが広域で実施されるよう、定住自立圏女性活躍推進協議会でも問題意識を共有し課題解決に努めることを望む。		
	【4】	防災における男女共同参画の推進	C	マニュアルに則り各コミュニティが独自の避難所運営計画を策定するにあたり、もっと具体的・積極的な支援を望む。また、地域防災の担い手の高齢化などの課題に対し、消防分団と女性消防団員との連携を進めたり、女性や若い世代の防災士の育成に努めるなど、関係各課が協力して取り組むことを望む。 【ヒア】危機管理課、消) 総務課、予防課		
目標4 男女のワーク・ライフ・バランスの推進 《重点目標》	男女が職場での仕事だけでなく、家庭での家事においても責任を果たしつつ、やりがいや充実感を感じながら働いています。また、それぞれのライフステージに応じて、男女がともに子育て、介護、地域活動を主体的に担い、趣味などの自分の時間も大切にしています。	【1】	働き方改革の推進に向けた機運の醸成	B	国・県の働きもあり、企業の働き方改革推進に向けた機運が上がっている。キッズウィークについては、市内限定の取り組みのため、保護者の勤務先が市外の場合、対応・取り扱いが難しい面があり、施策と市民の感情ギャップも意識しつつ実施していくことを望む。 【ヒア】産業観光課	概ね進捗している
		【2】	企業などにおけるワーク・ライフ・バランスの推進	B	キッズウィークの取り組みなど市の特色が出ており評価できる。国・県と有機的連携をしつつ、効果的推進となるよう継続的に事業実施されることを望む。 (具体的には労働局にキッズウィークの周知協力等を仰ぎ、全県実施となるよう働きかける) 【ヒア】産業観光課	

目指すまちの姿	施策番号	施策	平成30年度事業実績		
			(1) 審議会による施策実施評価	(1-1) 審議会によるコメント 【ヒア】ヒアリング実施課名 (評価コメントに反映しています)	(2) 審議会による目標ごとの進捗状況の評価基準
	【3】	市役所におけるワーク・ライフ・バランスの推進	B	ワーク・ライフ・バランス推進のためにも超過勤務解消（削減）に向け、継続的に努力されることを望む。	
	【4】	働く男女の健康管理対策の推進	B	健康管理を推進している企業の数字（指標）に注視している。今後、健康経営という手法も視野に入れて推進されることを望む。	
	【5】	コンパクトシティの推進	B	最近、まちなかの景観が変化してきている。まちなか居住を進められているが、現在移動している世代は、〇年後には高齢化する世代だというも念頭に、どう若い人を呼び込み続けるか、ジェンダー視点を取り入れながら推進されることを望む。 【ヒア】都市計画課	
	【6】	子育て環境の整備、充実	B	働き方の多様化に伴う保育ニーズに合わせ、支援内容を検討・実施することが子育て環境の整備では大変重要。子育ては母中心という概念をなくし、父視点も加えて取り組まれることを望む。また、子育て支援拠点事業の質の向上のため実施している県主催の子育て支援員研修（地域子育て支援拠点コース）等の研修に全事業所が参加するよう市からの働きかけを強く望む。	
	【7】	高齢者などに対する介護支援の充実	B	介護は女性がするものという潜在意識を取り除き、介護支援の充実を図ることを望む。その際、ダブルケアの実態にも目を向けながら、隠れたニーズの掘り起こしにも意識することを望む。	

目指すまちの姿	施策番号	施策	平成30年度事業実績		
			(1) 審議会による施策実施評価	(1-1) 審議会によるコメント 【ヒア】ヒアリング実施課名 (評価コメントに反映しています)	(2) 審議会による目標ごとの進捗状況の評価基準
	【8】	保育士の確保	B	市からの保育士確保の働きかけは評価できる。女性の就労・社会進出には保育量の確保は必須であるため、引き続き、他市町の状況も見ながら対策をとることを望む。	
	【9】	介護職域における人材の育成、確保	B	外国人材の活用には、言葉の壁が大きな課題となっている。既存の教育機関等と連携しながら、課題解決を図りつつ、人材育成が進むよう支援を望む。 【ヒア】高齢者支援課	
	【10】	男性の家庭生活への参画推進	B	高齢男性の孤立リスクへの対応は継続的に実施していく必要がある。今後、市民交流活動センターなどの新施設において、男性が活躍できる支援に期待する。	
	【11】	地域活動における男女や多様な世代の参画推進と活動支援	B	シニア世代の活躍が目立つ。生産世代はしっかり働いてもらう必要があるが、地域活動にもかかわってもらえるよう、市がよりよく関与することを望む。	
	【12】	市民活動への支援と参加推進	B	情報発信の仕方に工夫の余地があると考え。類似業務、施設については、横のつながりを意識して、実りある連携を実現されることを望む。	

目指すまちの姿	施策番号	施策	平成30年度事業実績		
			(1) 審議会による施策実施評価	(1-1) 審議会によるコメント 【ヒア】ヒアリング実施課名 (評価コメントに反映しています)	(2) 審議会による目標ごとの進捗状況の評価基準
目標5 男女がともに生き生きと働き続けられる労働環境の整備	就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において男女が性別による不利益な取り扱いを受けることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。	【1】 女性の就職・再就職、継続就労、起業・創業などのための支援	A	ハローワーク丸亀内にマザーズサロンがあるのは他市町に比べ有利。国・県の施設を最大限に有効活用し、更なる高みを目指すことを望む。	概ね進捗している
		【2】 企業などにおける男女雇用機会均等対策の推進	B	市内の中小企業には、制度として明文化していないが、男女が働きやすい配慮ができている会社もある。そうした会社へ、持続可能な働き方への支援をするなど、ホームページ以外のツールを有効活用し、一歩先を見据えた取り組みを検討されることを望む。 【ヒア】産業観光課	
		【3】 女性の職域の拡大	B	女性の職域拡大事例は少ないかもしれないが、そこからロールモデルを見つけ、うまく周知し、裾野の広がりを目指す取り組みを望む。 【ヒア】産業観光課	
		【4】 農林水産業、商工業などの自営業に従事する女性への支援	B	自営業で働く女性のキャリアデザインが描けるようロールモデル交流等の支援を望む。そのほか、女性は6次産業化に向いているので、体に良い物を食べさせたい母と農業者をつなぐような仕組みづくり、支援の検討も望む。	

	目指すまちの姿	施策番号	施策	平成30年度事業実績		
				(1) 審議会による施策実施評価	(1-1) 審議会によるコメント 【ヒア】ヒアリング実施課名 (評価コメントに反映しています)	(2) 審議会による目標ごとの進捗状況の評価基準
目標6 配偶者などからの暴力の根絶 《重点目標》	市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。	【1】	あらゆる暴力を許さない意識の醸成に向けた啓発の実施	B	暴力を許さないという観点で事業を実施されていると思うが、相談窓口の周知などは広報の数だけでは啓発効果が測定しづらい。効果的な広報のために効果測定の方法を検討することを望む。 【ヒア】学校教育課	概ね進捗している
		【2】	女性相談窓口の周知	B	男性相談者への周知を試みたのは評価できる。窓口周知のために実施した方法がどれぐらいの効果があつたのかを測定するために、あらゆる機会をとらえ質問したり、アンケートを取ったりすることを望む。 【ヒア】人権課	
		【3】	発見通報に関する関係機関への働きかけの実施	B	協議会や連絡会などのネットワークづくりが形だけのものにならないよう、有効に実働するよう、もっと声掛けなどの働きかけを積極的にするよう望む。	
		【4】	相談員の資質向上のための研修実施と心理的ケアの充実	B	相談員の資質向上を目標にあげていながら、判断を誰がしているのか分からない。現状、問題がないとしても、利用者からのフィードバックのような測定導入を望む。また、時間外の相談を、いきなり警察というのでは相談を躊躇されることも考えられるので、警察以外の24時間対応できる方法を検討するよう望む。	

目指すまちの姿	施策番号	施策	平成30年度事業実績		
			(1) 審議会による施策実施評価	(1-1) 審議会によるコメント 【ヒア】ヒアリング実施課名 (評価コメントに反映しています)	(2) 審議会による目標ごとの進捗状況の評価基準
	【5】	相談室の整備	B	現状できることは対応されており評価できる。要望として新庁舎での相談室の壁紙の色、調度類の配置など、相談者が相談しやすいと感じられるよう、充実を望む。	
	【6】	DV被害者が一時的に避難できる場所の確保	B	DV問題を考える際、加害者を家から排除し、被害者と子どもが普通の暮らしを継続するのが1番あるべき姿だと考える。また、一時的とはいえ、避難親子が別々で困まわれる場合があると聞く。そこで、子どもが少しでも不安とならないよう、市独自で親子同室となるような保護場所の確保等をされることを望む。	
	【7】	DV被害者と同伴の子どもへの適切な情報提供と切れ目のない支援の実施	B	支援を必要としている当事者は、知的障がいや発達障がいを持っている場合もあり、そのため、自ら相談しない可能性が高いということを念頭におき、業務に取り組まれることを望む。また、男性相談者が救済されることによって、DV加害者が減ることも予想される。違う視点で、男性相談を積極的に検討されることを望む。 【ヒア】子育て支援課	

目指すまちの姿	施策番号	施策	平成30年度事業実績		
			(1) 審議会による施策実施評価	(1-1) 審議会によるコメント 【ヒア】ヒアリング実施課名 (評価コメントに反映しています)	(2) 審議会による目標ごとの進捗状況の評価基準
目標7 生涯にわたる男女の健康支援	男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。特に女性は生涯を通じて男性とは異なる健康上の変化や問題に直面することについて、女性自身が正しく認識・対応し、健康な生活を送っています。	【1】 男女の性をともに理解・尊重する意識の浸透	C	目標2【1】【2】と同様であるが、学校現場の取り組みを記載するのではなく、環境整備や支援について、課として何をするのかを具体的に記載することを望む。「性教育」は、一人ひとりの生命を尊び育む教育。LBGTについても、積極的な情報提供に努めることを望む。 【ヒア】学校教育課	あまり進捗していない
		【2】 男女の心とからだの健康保持・増進対策の推進	B	保健師が地域に出向き、「健幸」のため、意欲的に取り組んでいることを評価する。ネット依存など新しい健康課題へも他課と連携して対応することを望む。	
		【3】 女性の生涯にわたる健康保持・増進対策の推進	B	養護教諭との情報交換など、現状を把握し支援のあり方を検討する姿勢を評価する。一人ひとりの健康課題に寄り添うきめ細かな支援の継続を望む。	

	目指すまちの姿	施策番号	施策	平成30年度事業実績		
				(1) 審議会による施策実施評価	(1-1) 審議会によるコメント 【ヒア】ヒアリング実施課名 (評価コメントに反映しています)	(2) 審議会による目標ごとの進捗状況の評価基準
目標8 困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備	市の支援のほか、地域の人がお互いに目配りしながら、「困ったときはお互い様」と助け合う気持ちで生活しています。そのため、ひとり親家庭や高齢者、障がい者などの様々な困難を抱えた人も安心して生活しています。	【1】	ひとり親家庭への支援の充実	B	教育部総務課の実費支給3事業開始は弱者の立場に立った事業と評価できる。住宅支援では、量的な問題もあるため、高齢者女性と子育て期のひとり親家庭のシェアハウスのような、新しい取り組みを検討されることを望む。また、福祉課の学習支援では、市南部などでも支援が受けられるよう体制改善を望む。	概ね進捗している
		【2】	高齢者が安心して暮らせる環境の整備	B	地域で高齢者が活躍できるような人材の循環づくりはできないだろうか。また、在宅で普通に生活するには、買い物などの移動手段の確保が大事であるので、行政の更なる援助を望む。	
		【3】	障がい者が安心して暮らせる環境の整備	B	困っていることも分からないなど、障がい者自らが相談するのは、難しい場合がある。家族も障がい者を困った者扱いにしてしまう場合があるため、本当に困る人が出ないようケアができるコーディネーターのような仕組みを検討することを望む。	
		【4】	外国人が安心して暮らせる環境の整備	B	市役所の窓口対応が十分であれば、引き続き頑張っていたきたい。そのうえで、自動翻訳機導入の検討を望む。	
		【5】	多様な性を認める意識の醸成に向けた啓発の実施	B	飛躍的に認知度は高まったと思う。多様な性を認める風潮が浸透しているのは、周知・啓発の成果だと評価できる。 【ヒア】人権課	